



2020年12月30日

各 位

会 社 名 株式会社シー・ヴィ・エス・ベイエリア  
代表者名 代表取締役社長 上山 富彦  
(コード番号 2687 東証1部)  
問合せ先 経理・経営戦略グループマネージャー 牧 健太郎  
(TEL : 043 - 296 - 6621)

## ホテル施設の閉店及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、ユニット型ホテル全6施設の内、休業中の2施設について閉店を決定するとともに、当該施設の閉店に伴い、店舗閉鎖損失引当金を特別損失として計上するほか、現在運営中のビジネスホテル1施設の固定資産について減損損失を計上することとなりましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. ホテル施設の閉店について

新型コロナウイルス感染症の影響により、ユニット型ホテル5施設の休業を継続しておりましたが、都心部の宿泊需要は、10月中旬以降、回復基調を辿っておりますが、ビジネスホテルの宿泊価格が大幅に値下がりし、ユニット型ホテルとの価格差が僅差である状況が続いていることから、今後、価格優位性を確保するまでには相当の期間を要すると判断し、下記の2施設につきましては、営業再開を断念し、閉店を決定いたしました。

##### 閉店する施設

- ・東京駅前 BAY HOTEL (東京都中央区)
- ・田町 BAY HOTEL (東京都港区)

なお、現在も休業中のユニット型ホテル3施設のうち「東京有明 BAY HOTEL」につきましては、2021年開催予定の東京オリンピック開催時においては、運営関連企業の宿泊先として一棟貸切でのご予約をいただいているため、運営を再開する予定ですが、その他の期間や他2施設につきましては、引き続き、国内外の感染状況、東京オリンピック開催の動向に注視し、再開時期の検討を進めてまいります。

#### 2. 特別損失の計上について

当第3四半期連結会計期間において、当該2施設の閉店決定に伴い、原状回復工事終了までの期間に支払う店舗賃借料を店舗閉鎖損失引当金 53 百万円として計上するほか、現在運営中のビジネスホテル1施設について、新型コロナウイルス感染症の影響により収益が開業時の計画に対し大きく下回っている状況が続いていることから、将来の回収可能性を検討した結果、来期、再来期の見直し変更が影響し、固定資産の減損損失 79 百万円を特別損失として計上いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、本日公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以上